

夷隅だより

第7号 H28年4月1日発行



ひびき工業団地内サポートセンターで

3・11震災時東北方面総監だった故「君塚栄治さん」(夷隅郡御宿町出身)を偲んで「東松島市震災復興を訪ねる。」
3月11日、12日、平成二十三年震災発生した翌年から、東松島市ひびき工業団地内の仮設住宅で暮らす被災者方々(当時350世帯)を元気付けようと房総の野菜づくり仲間と夷隅支部長ほか支部員2名が参加して自分達で作ったジャガイモ、タマネギ、大豆、米、卵等、大型バス貨物室一杯の支援物資を毎年7月に届けて被災者方々と交流して来ましたが、昨年で終了しました。今回、夷隅支部として、野菜づくり仲間4名と支部員3名の7名で東松島市震災復興を訪ねました。

3月11日、5年の復興祭に合わせ、房州の夏みかんといすみの日干し魚を手土産にひびき工業団地内の「東松島市生活復興支援センター」片岡所長、上下堤区長、宮沢さんと懇談し、未だ130世帯が余儀なく仮設住宅暮らしをしている、高台新築住宅移住には時間がかかる等、復興祭には市長も来られるとが、又私共4年間の野菜づくり仲間に感謝状を戴いたりの楽しい時間を過ごし、夕方、東松島市で復興した民宿「かみの家」で宿泊し、翌日一行は、金華山を参拝し、(ここを参拝すると今後の人生にお金に困らないと云われる)福島原近く常磐道を通って帰路についた。



「3月26日(土)花見会を開催」
夷隅支部は会員の相互扶助及び親睦を図る目的で毎年花見会を開催することになっていますが、今年は予定より1週間早く3月26日(土)に大多喜中央公民館隣の県民の森にて大多喜分会長「岩佐さん」担当で開催しました。最初に県立中央博物館大多喜城分館を見学後、県民の森に移動し、公園内桜は、まだ3分咲き状態で肌寒い為、研修室を借りて参加支部員7名と家族含む一般参加者7名の14名で楽しく懇親を深め、午後からは、地元ボランティアガイドによる大多喜町(小京都といわれる)を観光を楽しみ午後3時に終了しました。